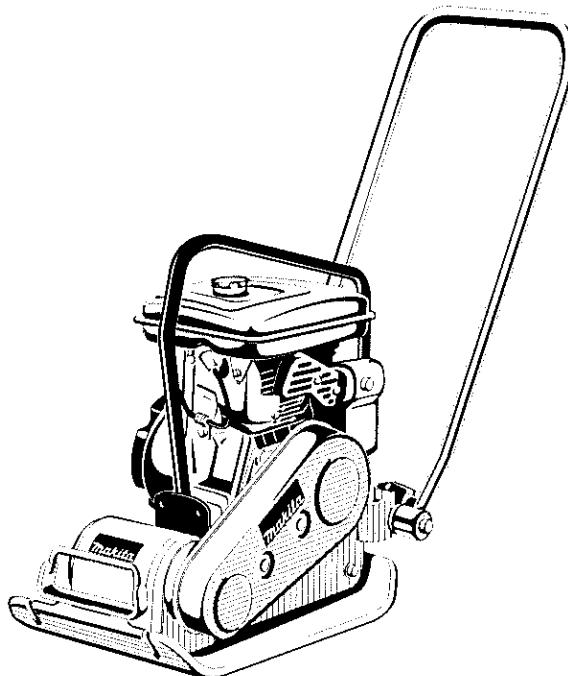


makita

エンジンプレート

モデル EP52,EP62

取扱説明書



このたびは、マキタエンジンプレートを
お買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先だち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の機能を
十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、い
つまでも安全に効率よくお使いくださるようお願い致します。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

まえがき

この取扱説明書は、マキタエンジンプレートをご使用頂くためのガイドブックです。初めてお使い頂く方はもちろん、すでにご使用になられた経験をお持ちの方にも知識や経験を再認識する上で実際にお役に立つものと考えております。

この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で実際にご使用くださいますようお願いいたします。また、この取扱説明書は大切に保管しておいてください。

なお、エンジンの取扱い・保守については別冊の「エンジン取扱説明書」をご参照ください。

本機を他人に貸したり、使わせる場合は、取扱い方法をよく説明し、また、あらかじめこの「取扱説明書」を読むように指導してください。本機を譲渡する場合には、この「取扱説明書」および「エンジン取扱説明書」を譲渡してください。

エンジンプレートの設計内容に関する不断の研究改良の結果、この取扱説明書の内容の中に、お買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてご質問がおありの場合は、当社営業所へお問い合わせください。

目次

目 次

| | |
|-------------------|----|
| 安全に関するご注意 | 1 |
| 1. 基本的注意事項 | 3 |
| 2. 警告表示（ラベル）の張付位置 | 6 |
| 3. 各部の名称 | 8 |
| 4. 始業点検 | 10 |
| 5. 始動 | 12 |
| 6. 運転 | 15 |
| 7. 停止 | 16 |
| 8. 点検・整備 | 17 |
| 9. 燃料・オイル | 20 |
| 10. 運搬の方法 | 20 |
| 11. 長期保存の仕方 | 21 |
| 12. 定期点検表 | 22 |
| 13. 故障診断 | 23 |
| 14. 別販売品のご紹介 | 24 |
| 15. 全体図 | 25 |

安全に関するご注意

本機を安全にご使用頂くには、正しい操作と定期的な保守が不可欠です。この取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになり、十分に理解されるまで運転操作ならびに保守作業を行わないでください。

この取扱説明書に示されている操作および安全に関する注意事項は、エンジンプレートとしての使用目的に使用する場合のみに関するものです。この取扱説明書に書かれていない使用法を行う場合に必要な安全に対する配慮は、すべてご自分の責任でお考えください。

この取扱説明書では、もしお守り頂かないと人身事故につながる恐れのある注意事項は、「▲ 危険」または「▲ 警告」という見出で表示してあります。なおまた、もしお守り頂かないとけがの発生または機械の重大な破損につながる恐れのある注意事項は、「▲ 注意」という見出で表示してあります。特に、もしお守り頂かないと機械の破損・故障または寿命を短くする恐れのある注意事項を「重要」という見出で表示してあります。

また、機械を安全に操作、保守整備作業する上での注意事項を、機械に次の見出しをつけてラベル表示しております。

▲ 危険 注意を守らないと重大なけがや死亡につながる危険性が極めて高いことを示します。(このマークは赤色で表示)

▲ 警告 注意を守らないと重大なけがや死亡につながる可能性があることを示します。(このマークはオレンジ色で表示)

▲ 注意 注意を守らないとけがの発生または機械の破損・故障する恐れのあることを示します。(このマークは黄色で表示)

〔重要〕 注意を守らないと機械の破損・故障につながる恐れのあることを示します。

安全に関するご注意

この取扱説明書および機体の表示ラベルの記載内容が、すべての危険について予知し、説明しませんので作業にあたっては、取扱説明書および機体の表示ラベルの記載事項以外についても細心の注意を払って事故が起こらないように留意してください。



警 告

取扱説明書を熟読し理解するまでは機械を運転してはならない
誤った運転をするとけがや死亡事故につながる恐れがある
安全に運転することは使用者の責任である

☆本機を改造される場合の注意

当社にリコменドのない改造は、安全上問題があります。

改造する場合には、事前に最寄りの当社営業所にご相談ください。許可のない改造に起因する人身事故や故障などについては責任を負いかねます。

☆本機を取り扱うに際して、安全に係る基本的な注意事項を次ページから説明してあります。

警 告

安全のために、必ず注意事項を守ってください。
注意事項を守らないと故障や事故に結びつきます。

1. 基本的注意事項

■取扱説明書を熟読する

- 運転操作装置の機能を理解し、その位置、操作方法を熟知してください。
また、操作方法や記号の意味を正しく理解してください。



■作業現場の規則(ルール)を遵守する

- 作業現場内の禁止・注意事項、作業手順など定められた規則を守ってください。

■作業に適した服装・保護具を着用する

- 作業に適した服装、安全靴、安全帽を着用してください。
- 機械の突起部に引っ掛かる可能性のある服装、装飾品などを着用しないこと。また、油の付着した作業着は、引火しやすいので着用しないこと。
- 作業によっては、保護メガネ、マスクなども忘れずに着用してください。



■高温時の取扱いに注意する

- 運転中および停止直後は、エンジン全体が熱くなっていますのでやけどをしないよう注意してください。
- エンジン稼働中および稼働直後のマフラーは高温になっていますので、手・身体・衣服などが触れないようにしてください。
- エンジンが熱いときは、オイルの抜き出しの際に飛沫でやけどしないよう注意してください。



1. 基本的注意事項

■火気に関する注意

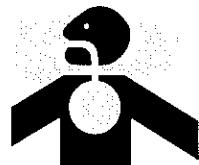
- 燃料、オイルなどに火気を近づけると、引火する恐れがあります。
特に、燃料は非常に燃えやすく危険です。



- タバコやマッチなどの火気を可燃物に近づけないでください。
- 燃料の補給は、エンジンを止め、火気が近くにないことを確認してから行ってください。
- 燃料やオイルのすべてのキャップは、確実に締めてください。

■換気に関する注意

- エンジンの排気ガスは人体に有害です。
室内など換気の悪い所でエンジンを始動する場合には、窓や人口を開け、十分な換気をしてください。

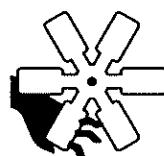


■作業(運転)前に機体の確認を行う

- 安全な場所で各部の作動が正常であることを確認してください。異常が認められた場合には、必ず適切な処置をしてから運転を開始してください。
- 異常音、不自然な振動、熱、臭いを点検し、異常を発見したらすぐに安全な所に止め、原因を調べて修理してください。

■巻き込まれに注意する

- 運転中は回転部分に手・身体・衣服などが巻き込まれてけがをする恐れがありますので、近づかないでください。
Vベルト・PTOブーリなどの回転部分およびその付近の点検・整備は必ずエンジンを止めてから行ってください。
- 回転部分のカバー類は、絶対に取り外して使用しないでください。



■積込み、積降ろし時の注意

- 運搬車両への積込み、積降ろしは、本機を落とさないように二人で行ってください。
- 長距離や悪路を運搬する場合は、燃料タンク、気化器、燃料ストレーナの燃料を抜いてから運搬してください。

■クレーンを使用しての積込み、積降ろし時の注意

▲ 警 告

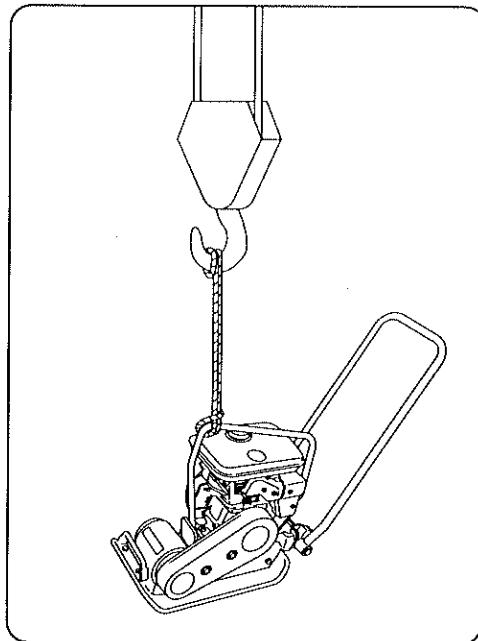
クレーンを使用して吊り上げ、吊り下げ作業をする人は、次の資格を取得した人でなければいけません。

- 移動式クレーン特別教育修了証（労働安全衛生法第59条第3項）

- 玉掛技能講習修了証

（労働安全衛生法第61条、同法施行令第20条、クレーン則第221条）

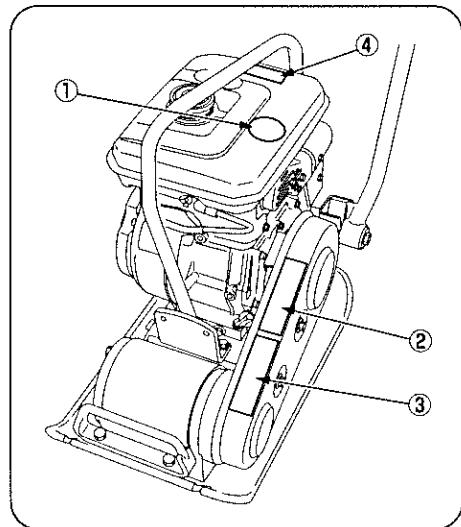
- 右図のように、ガードに確実にワイヤロープを掛けてください。



2. 警告表示(ラベル)

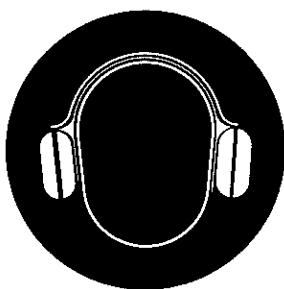
2. 警告表示(ラベル)の貼付位置

安全にご使用頂くために、製品には下図の位置に警告表示(ラベル)を貼り付けています。
警告表示(ラベル)は、常に汚れや破損のないように保ち、万一破損・紛失した場合は、新品
に貼り直してください。ラベルを注文するときは、ラベル右下の部品番号をお知らせください。



警告表示(ラベル)の詳細

①



②

警 告

! **警 告**

- 取扱説明書を熟読理解するまで機械を運転してはいけません。
- 誤った運転をするとケガや死亡事故につながる恐れがあります。
- 安全に運転することは使用者の責任です。

3998-16476-0

③

 ! **危 険**

- 回転箇所の回りには、巻き込まれやすい物を近付けないで下さい。
- 身体や工具を触れさせると、切断されますので絶対に接触させないで下さい。

3998-16485-0

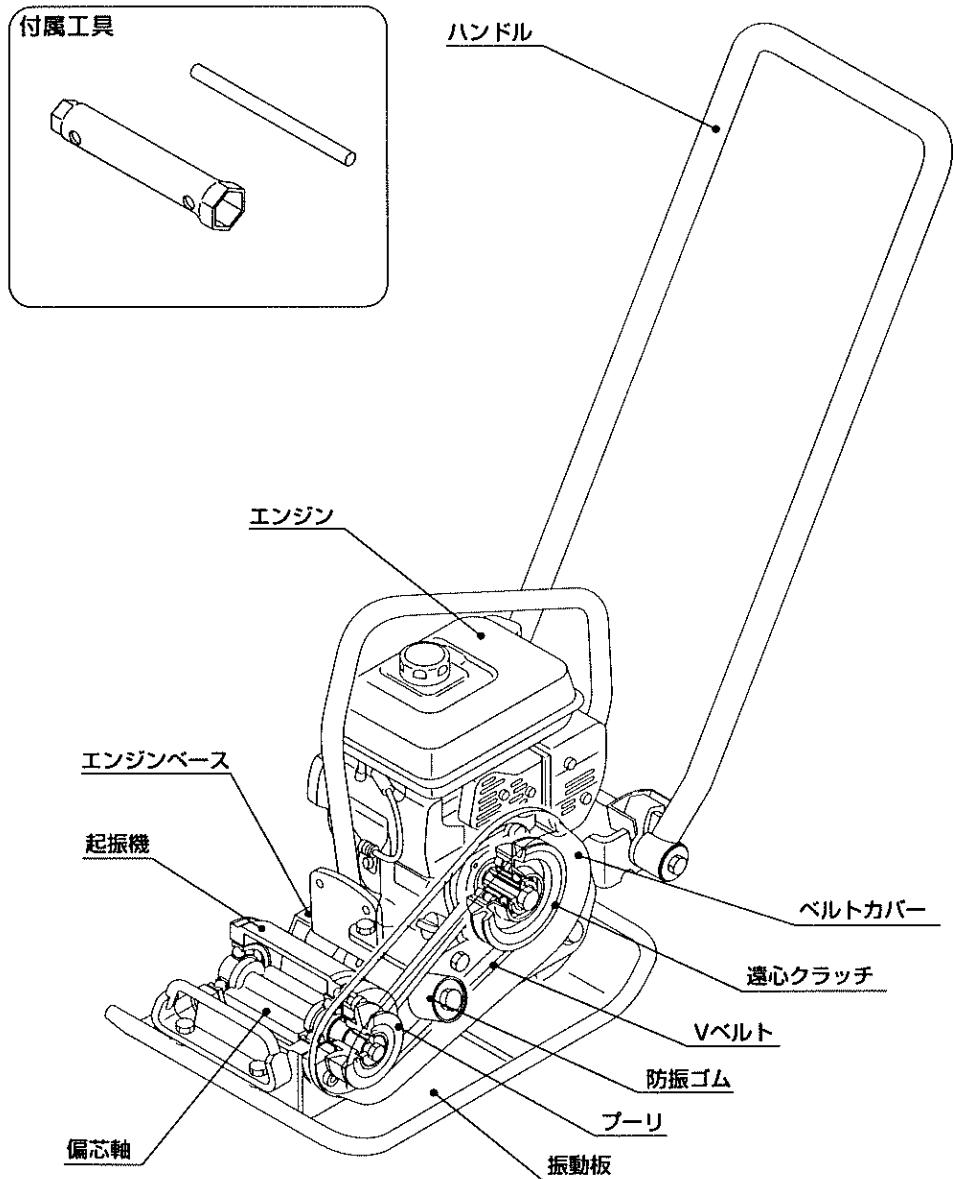
④

| ▲ 危 険 | ▲ 警 告 | ▲ 注意 | ▲ 注意 |
|--|--|--|--|
|  火 気 嚓 禁 油箱は必ずエンジンを停止してください。 燃油に火をかけると大炎の爆発があります。 |  排気ガスに注意 室内や換気の悪い場所では 運転しないでください。 |  マフラー高温注意 マフラーおよびその付近 に触れないでください。 |  ガソリン 安全のため取扱 説明書をよく読み 使用してください。 |

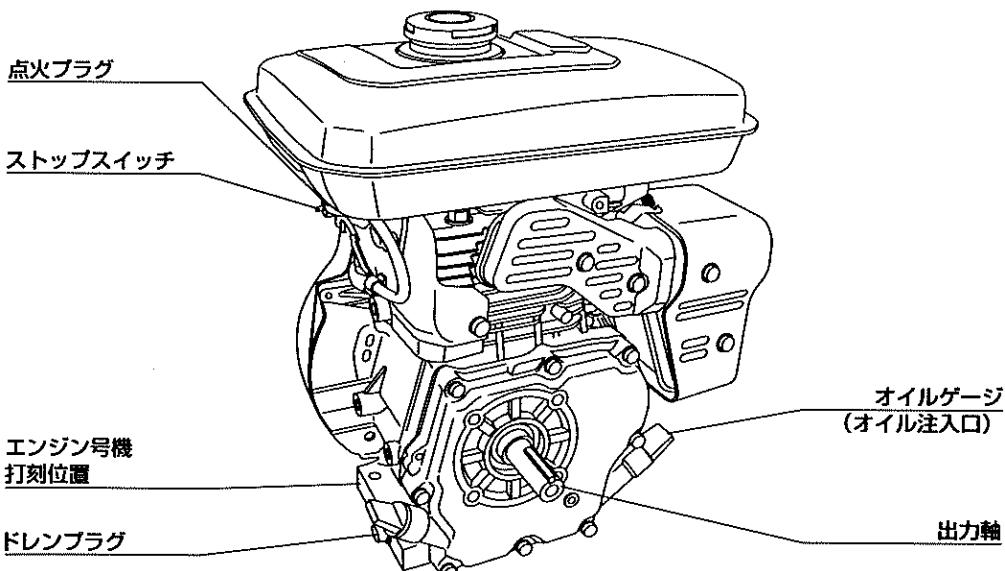
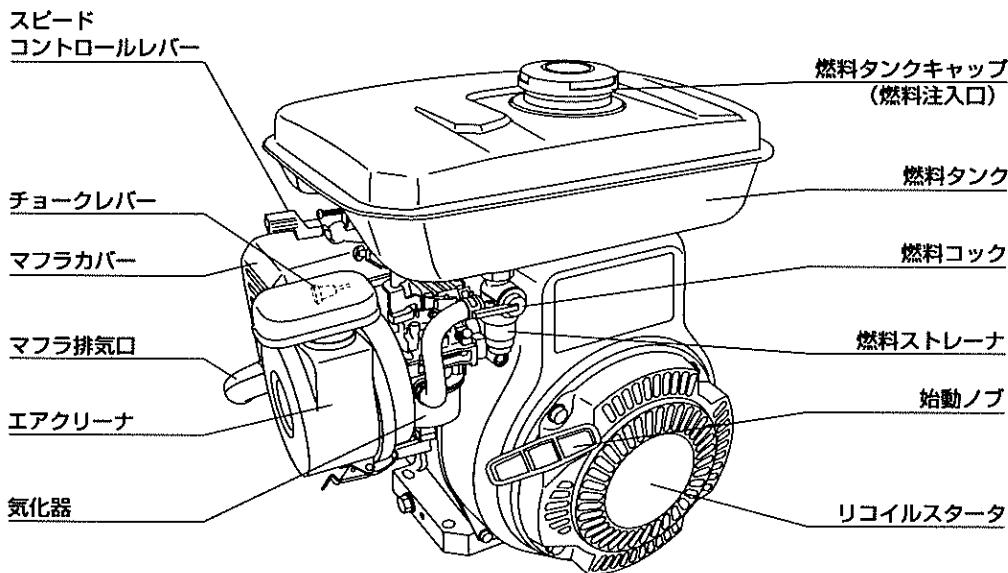
3. 各部の名称

3. 各部の名称

3.1. エンジンプレート



3.2. エンジン



4. 始業点検

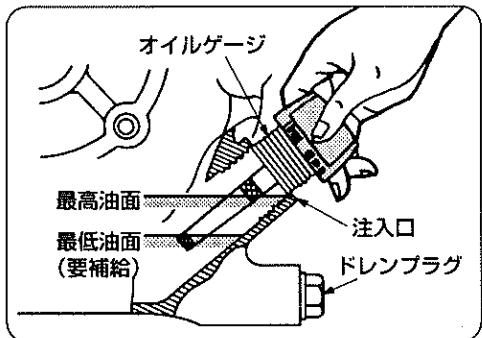
4. 始業点検

4.1. エンジン

エンジンについては別冊の「エンジン取扱説明書」をお読みください。

4.2. エンジンオイルの確認

- ① オイルゲージを一度外し、ウエスでオイルゲージに付着しているオイルを拭き取ります。
- ② オイルゲージを注入口にねじ込まずにいっぴんに押し込んで、油面の高さを調べます。
- ③ 不足しているときは、オイルゲージの上限目盛までエンジンオイルを補給してください。



▲ 注意

- 給油、油量点検後は、オイルゲージを確実にねじ込んでください。

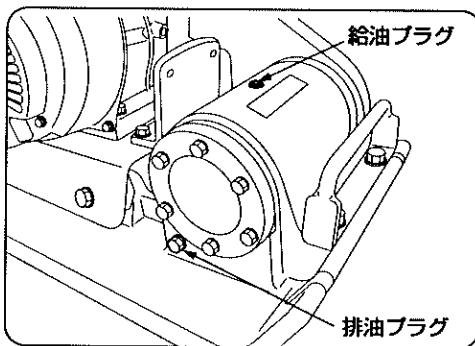
〔重要〕

- 給油および油量点検は、必ずエンジンが水平になる状態で行ってください。
給油の約3分後に再度油量点検をしてください。
- オイルの入れすぎは、オイルの吹き出し、エンジンの出力不足となりますので、規定量以上入れないでください。
- オイルが少ないと、エンジンが焼き付くことがあります。
- 指定以外のオイルを使用すると、エンジンの寿命を縮める恐れがあります。

4.3. 起振体オイルの確認

機体を水平にして、起振体の排油プラグを外し、オイルが排油口からこぼれ出す程度まで入っているか確認してください。

不足しているときは、起振体上部にある給油プラグを外してエンジンオイルを補給してください。



▲ 注意

- 本機を長時間左右に倒すと、起振体の通気穴よりオイルが流出します。
修理中など必要な場合以外は、通気穴をふさがないでください。

4.4. 燃料の確認

▲ 警告

- 燃料をこぼしたときは、きれいに拭きとってください。
- 燃料補給時は、必ずエンジンを止めてください。
- 燃料補給後は、タンクキャップを確実に締めてください。

▲ 注意

- 燃料補給時は、燃料詰まりを防止するため、必ずフィルタを通して補給してください。

燃料タンクのキャップを外し、目視で燃料の残量を確認してください。不足している場合は、補給してください。

使用燃料：自動車用レギュラーガソリン

▲ 警告

- 使用燃料の種類に間違いがないか、補給前に必ず確認してください。

4.5. 各部のボルトやナットのゆるみを確認

機体の振動によりボルトやナットがゆるみ、ゆるんだ状態で使用すると機能が低下したり、破損の原因となります。機体を点検し、ゆるんでいるボルトやナットを締めしてください。

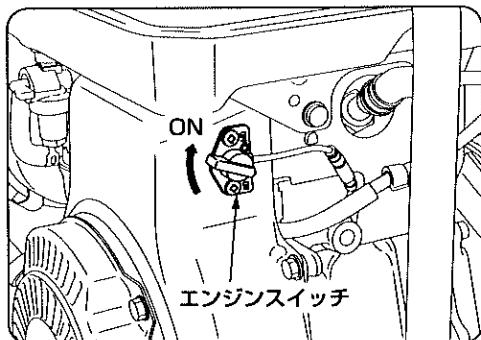
5. 始動

5. 始動

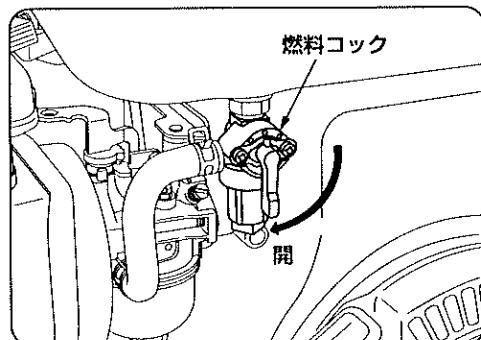
▲ 警告

- エンジンを始動する時は、周囲の安全を確認してください。
- エンジンを始動する時は、機体が動き出さないよう左手でハンドルをしっかりと握り、右手で始動ノブを引っ張ってください。
- 始動ノブを引く時は、ハンドルに手が当たらないようハンドルの直後から引っ張ってください。

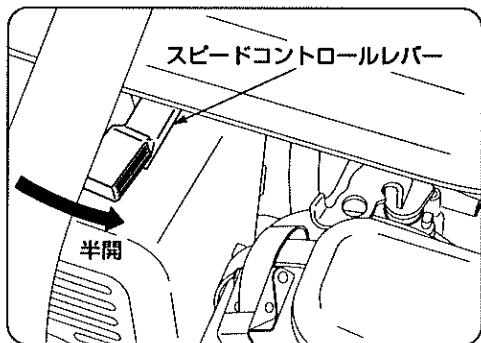
(1) エンジンスイッチを「ON」の位置にします。



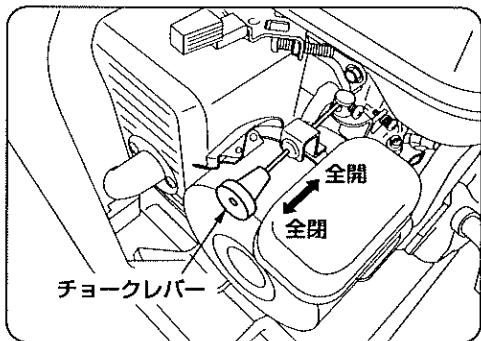
(2) 燃料コックを「開」の位置にします。



- (3) スピードコントロールレバーを「半開」にします。



- (4) キャブレターのチョークレバーを閉じてください。
(気候が暖かいとき、エンジンが暖まっているときは、「半開」にしてください。)



- (5) 始動ノブを勢いよく引いてください。



⚠ 注意

- ロープは最後までいっぱいに引ききらないでください。
また、戻すときにそのまま手を放すと、衝撃でカバーなどが破損しますので静かに戻してください。

5. 始動

(6) エンジン始動後、チョークレバーを「全開」にしてください。

▲ 注意

- エンジン始動後、1～3分くらい低速で暖気運転をしてください。
- エンジンが始動しないときは、点火プラグおよび燃料系統の詰まりを点検してください。

6. 運転

(1) 暖気運転後、スピードコントロールレバーを「全開」にします。

▲ 注意

- エンジンを中速で回しますと、遠心クラッチが「入・切」を繰り返し、焼付きの原因となりますので、エンジンを中速で回さないでください。

(2) 本機は振動しながら前進します。

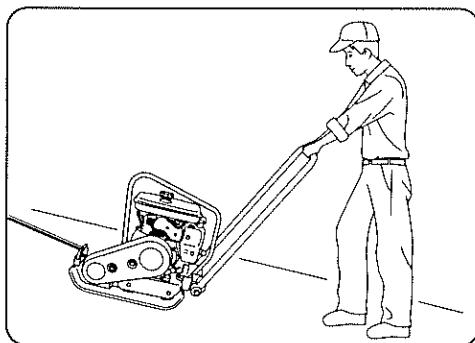


▲ 注意

- コンクリート板上など、硬い場所では振動をかけないでください。
- 運転中は、ハンドルから手を離さないでください。
- 本機を傾斜地で使用する場合は、1/4勾配(約14°)の範囲内でご使用ください。
- 大きな凹凸や、段差のある場所で作業する場合は、機体の転倒や滑りで手首を傷めないよう注意してください。
- 本機から離れる場合は、必ずエンジンを停止してください。

(3) 本機の速度が遅くなったときは、転圧板の底面に土などが付着していないか確認し、付着していたら取り除いてください。

[補足]：急な斜面で作業を行うときは、本機をロープで引っ張るなどの補助を加えると作業が効率的に行えます。



7. 停止

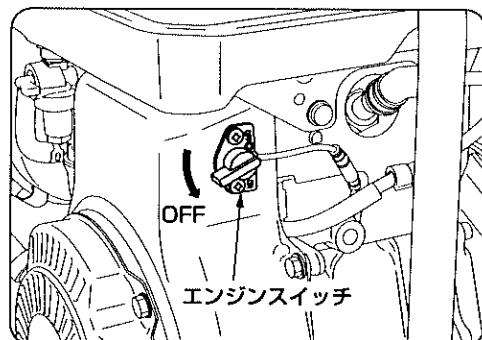
7. 停止

- (1) スピードコントロールレバーを「低速」側いっぱいまで戻し、1~2分間運転し、エンジンを冷やします。

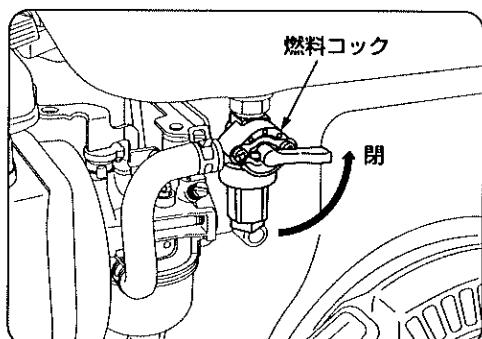
⚠ 注意

- エンジンを高速運転後に急停止するとエンジンの温度が急激に高くなり、オイルが劣化したり運動部品が固着するなどの不具合が生じます。

- (2) エンジンスイッチを「OFF」の位置にします。



- (3) 燃料コックを「閉」の位置にします。



8. 点検・整備

8.1. エンジン

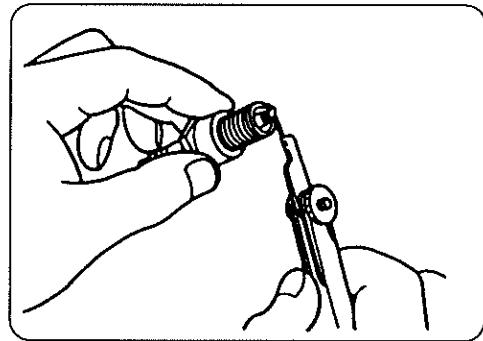
エンジンについては、別冊の「エンジン取扱説明書」をお読みください。

8.2. 本機

本機についたホコリ、汚れ、油などはきれいに拭きとり、異常がないか点検します。また、ボルトやナットのゆるみがないか点検してください。

8.3. 点火プラグ

点火プラグを取り外し、堆積カーボンを取り除いて、電極間の隙間を0.6~0.7mmに調整します。



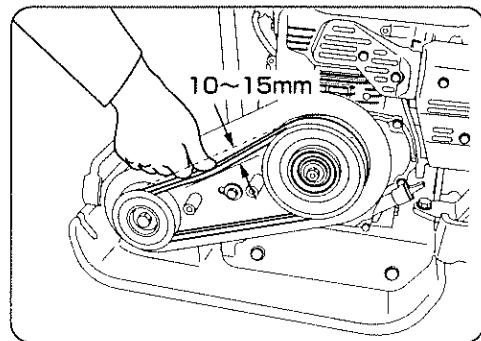
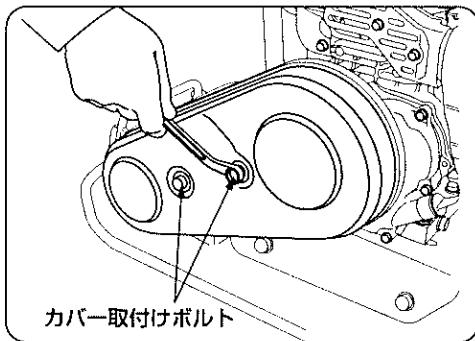
8. 点検・整備

8.4. Vベルト

Vベルトの張り具合を点検します。

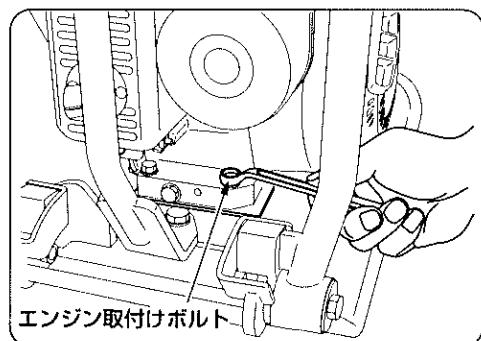
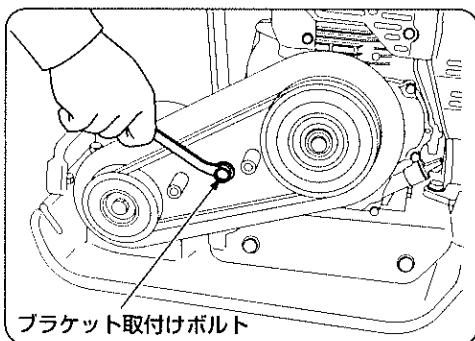
点検方法

- ① カバーを取り外す
カバーを取付けている2本のボルトを外し、カバーを取り外します。
- ② 両軸の中間を親指で押してみて、ベルトのたわみが10~15mm程度になるように調整します。



調整方法

- ① ブラケット取付けボルトとエンジンを取り付けている4本のボルトを少しゆるめます。
- ② エンジンの取付け位置を後方にずらし、ベルトの張りを適正にします。
- ③ ゆるめたボルトを締付けます。



〔重要〕

- 調整が悪いと、ベルトの寿命が極端に短くなりますので、注意して調整してください。

8.5. 各部ボルトのゆるみ

各部の取付けボルトにゆるみがないか、特にエンジン、ベルトカバー、防振ゴム、コントロールハンドルの周りを重点的に点検してください。

8.6. 起振体

オイルの交換方法

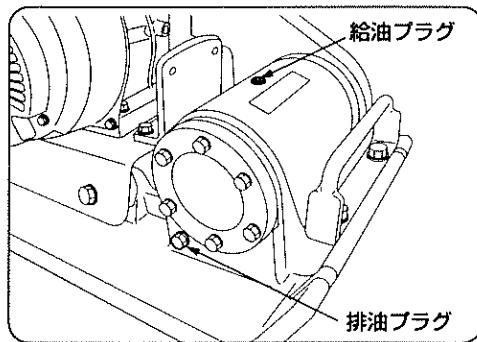
排油プラグを外し、本機を傾けてオイルを排出し、新しいオイルと交換してください。

オイル交換終了後、本機に付着したオイルはきれいに拭き取ってください。

オイル交換は、1カ月または200時間毎に行ってください。

規定量

EP52, EP62 850cc



9. 燃料・オイル 10. 運搬の方法

9. 燃料・オイル

9.1. 燃 料

使用燃料自動車用レギュラーガソリン

9.2. エンジンオイル・起振体オイル

| 気 候 | 気 温 | 使用オイル(SD級以上) |
|-----|----------|--------------|
| 夏 | 25℃以上 | SAE#30 |
| 春・秋 | 25℃~10℃ | SAE#30または#20 |
| 冬 | 10℃~-10℃ | SAE#20 |
| 通年 | 気温に関係なく | SAE 10W-30 |

10. 運搬の方法

▲ 注意

- 運搬車両への積込み、積降ろしは、本機を落とさないように二人で行ってください。
- 長距離や悪路を運搬する場合は、燃料もれによる火災を防止するため、燃料タンク、気化器、燃料ストレーナの燃料を抜いてから運搬してください。

本機を運搬する場合は、次のことに注意してください。

- (1) 燃料タンクのキャップが外れないように、確実に固定してください。
- (2) 燃料コックを閉じてください。
- (3) 運搬中に機体が動かないよう、ロープなどでしっかりと固定してください。

11. 長期保存の仕方

- (1) 燃料タンク、キャブレターの燃料をすべて抜き取り、燃料コックを閉じます。
- (2) リコイルスタータの始動ノブを引き、重くなった所で止めます。
- (3) エンジンおよび起振体に油漏れがないか点検します。
- (4) 防振ゴムに油が付着していたらきれいに拭き取ります。
- (5) ゆるんだボルトおよびナット類は締め直します。
- (6) 機体にビニールなどのカバーをかぶせ、ホコリ、湿気の少ないところに保管します。

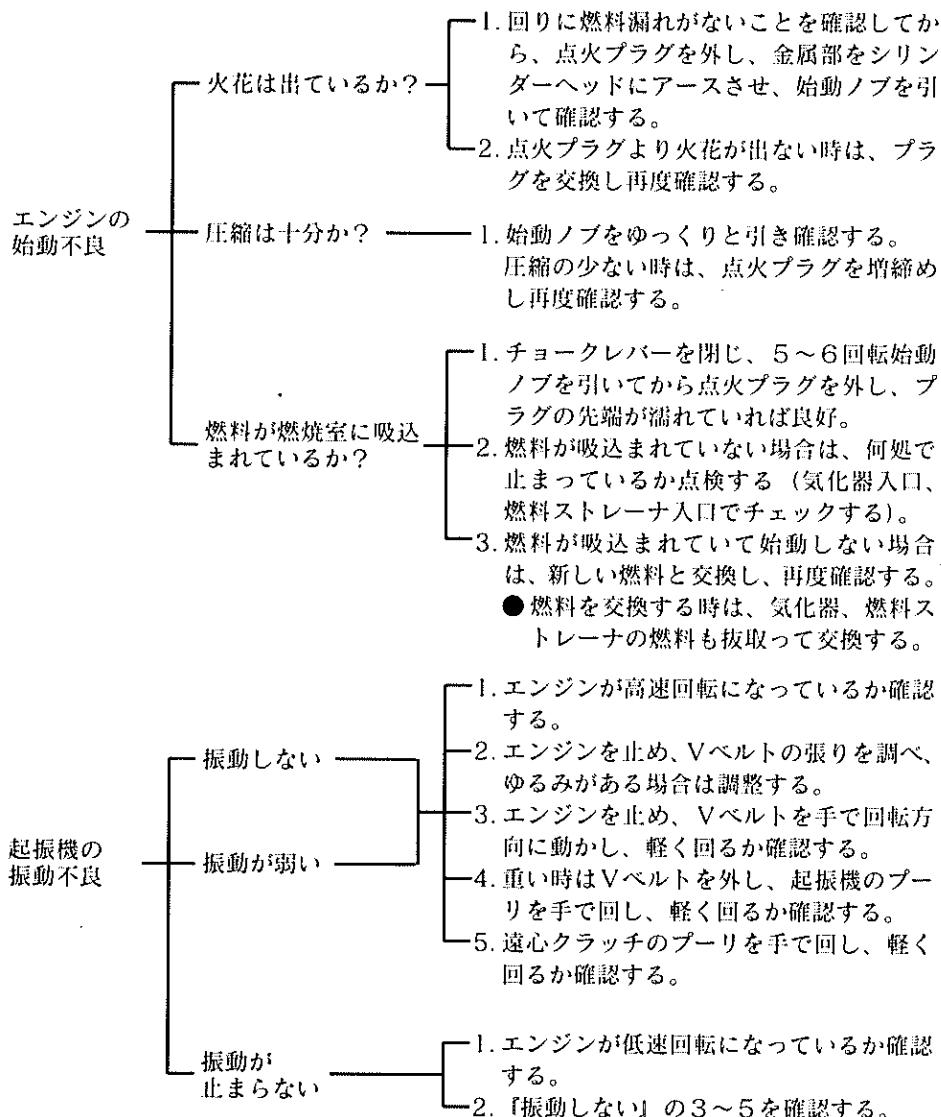
12. 定期点検表

12. 定期点検表

| 点 檢 項 目 | 毎日 | 毎週 (50時間) | 毎月 (200時間) | 500時間 | 1,000時間 | |
|-----------------|-------------|--------------|---------------|-------|---------|--|
| 各部の清掃および締付点検 | ● | | | | | |
| エンジンオイルの点検・補給 | ● 規定最大量まで補給 | | | | | |
| エンジンオイルの交換 | | ● (初回20時間) | | | | |
| 点火プラグの清掃 | | ● | | | | |
| エアクリーナの清掃 | | ● | | | | |
| 燃料ストレーナの清掃 | | | ● | | | |
| 点火プラグの隙間清掃と調整 | | | ● | | | |
| シリンダーヘッドのカーボン除去 | | | | ● | | |
| 化油器清掃 | | | | ● | | |
| 吸排気弁点検すり合わせ | | | | ● | | |
| エンジンオーバーホール | | | | ● | ● | |
| 起振機オイルの漏れ | ● | | | | | |
| 起振機オイルの点検・補給 | | ● | | | | |
| 起振機オイルの交換 | | | ● | | | |
| Vベルトの張り点検・調整 | ● | | | | | |
| 各部の清掃・締付点検 | ● | | | | | |

13. 故障診断

本機ご使用中に不具合が生じた時は、次の箇所を点検して修理してください。



修理・部品のサービスは、お買い求めの販売店かまたは巻末に掲載の、最寄りのマキタ直営事業所にお申しつけください。

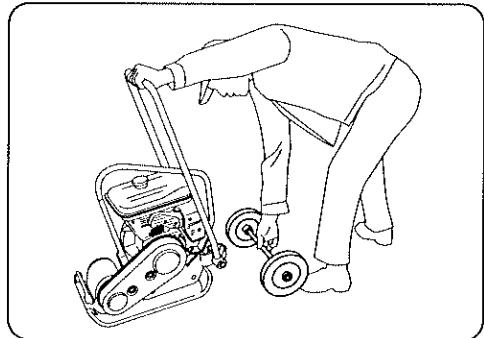
14. 別販売品のご紹介

14. 別販売品のご紹介

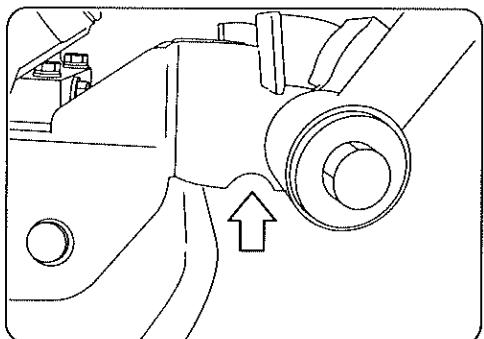
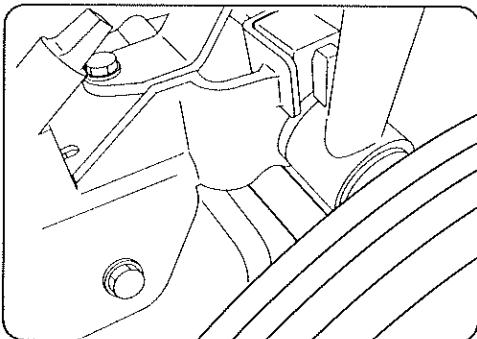
マキタエンジンプレートには、運搬車輪が取り付けられます。

運搬車輪の取付け

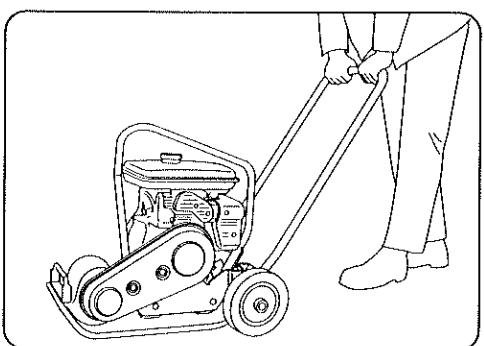
- ① ハンドルを前に倒し転圧板後方を浮かせます。



- ② 運搬車輪を本体のくぼみにセットします。

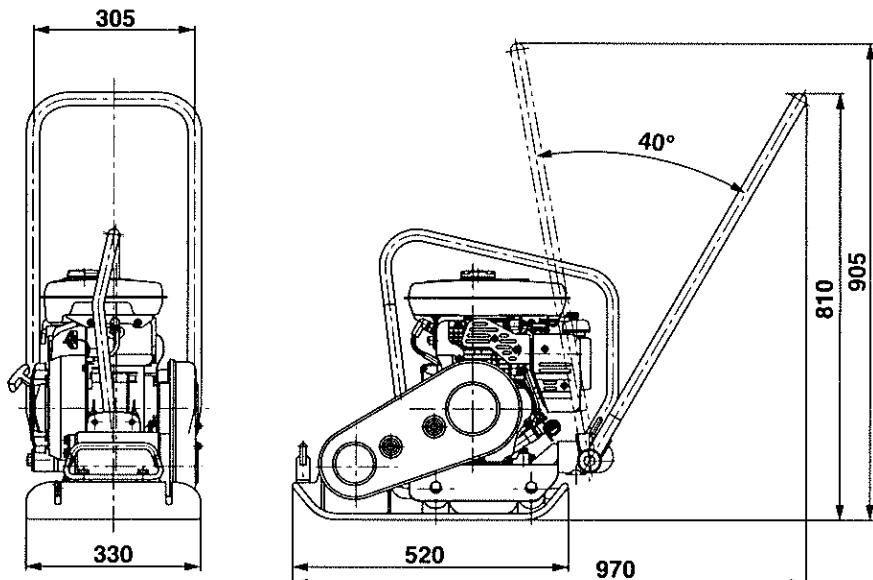


- ③ ハンドルを元に戻し転圧板前方を浮かせ
運搬します。



15. 全体図

(1) EP52

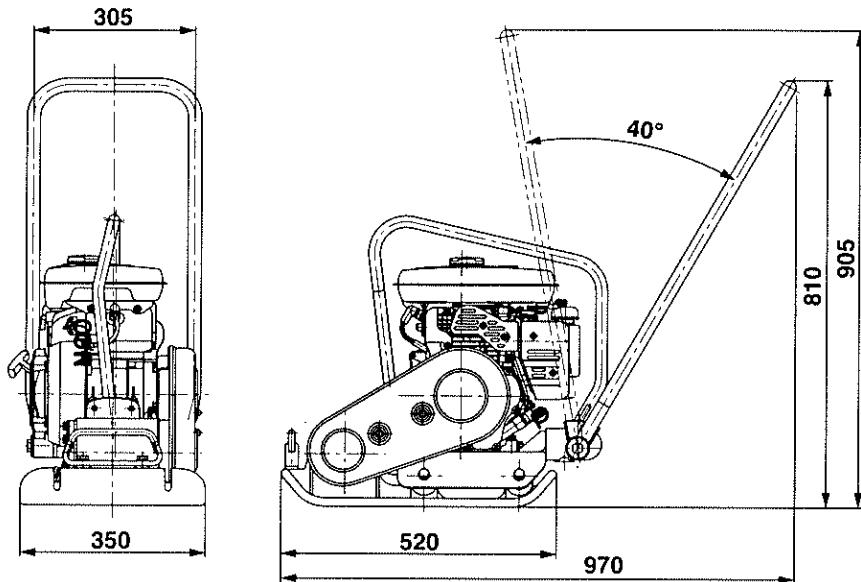


| 名 称 | | EP52 |
|---------|-----------|--|
| 寸 法 | 質 量 | 50 kg |
| | 全 長 | 970 mm |
| | 全 幅 | 330 mm |
| | 全 高 | 810 mm |
| | 転 壓 板 | 長さ 520 mm × 幅 330 mm |
| 性 能 | 振 動 数 | 100 Hz (6,000 vpm) |
| | 速 度 | 25~30m/min |
| | 起 振 力 | 9.8 kN (1,000 kgf) |
| エ ジ ニ ン | メー カー 型 式 | ロビン "EH12-2D" |
| | 最 大 出 力 | 2.6 kW/3,600 min ⁻¹ (3.5ps/3,600 rpm) |
| | 燃 料 | ガソリン |
| | 始 動 方 式 | リコイル式 |

〈注〉 単位は、国際単位系によるSI単位表示です。() 内は、従来の単位表示を併記したものです。

15. 全体図 (EP62)

(2) EP62



| 名 称 | | EP62 |
|------|-----------|--|
| 寸 法 | 質 量 | 60 kg |
| | 全 長 | 970 mm |
| | 全 幅 | 350 mm |
| | 全 高 | 810 mm |
| | 転 壓 板 | 長さ 520 mm×幅 350 mm |
| 性 能 | 振 動 数 | 100 Hz (6,000 vpm) |
| | 速 度 | 25~30m/min |
| | 起 振 力 | 12.2 kN (1,240 kgf) |
| エンジン | メー カー 型 式 | ロビン “EH12-2D” |
| | 最 大 出 力 | 2.6 kW/3,600min ⁻¹ (3.5 ps/3,600 rpm) |
| | 燃 料 | ガソリン |
| | 始 動 方 式 | リコイル式 |

〈注〉 単位は、国際単位系によるSI単位表示です。 () 内は、従来の単位表示を併記したものです。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

| 事業所名 | 電話番号 | 事業所名 | 電話番号 | 事業所名 | 電話番号 |
|----------|------------------|---------|------------------|----------------|------------------|
| 札幌支店 | (011) (783) 8141 | 足立営業所 | (03) (3899) 5655 | 東大阪営業所 | (06) (6746) 7531 |
| 札幌営業所 | (011) (783) 8141 | 大田営業所 | (03) (3763) 7553 | 関西物流センター | (0725) (46) 6715 |
| 旭川営業所 | (0166) (29) 0960 | 江戸川営業所 | (03) (3653) 5171 | 南大阪営業所 | (0725) (46) 6611 |
| 釧路営業所 | (0154) (37) 4849 | 多摩営業所 | (042) (384) 8411 | 奈良営業所 | (0742) (61) 6484 |
| 函館営業所 | (0138) (49) 9273 | 立川営業所 | (042) (542) 1201 | 福原宮営業所 | (0744) (22) 2061 |
| 苫小牧営業所 | (0144) (68) 2100 | 横浜支店 | (045) (472) 4711 | 和歌山営業所 | (073) (471) 4585 |
| 帯広営業所 | (0155) (36) 3833 | 横浜営業所 | (045) (472) 4711 | 田辺営業所 | (0739) (25) 1027 |
| 北見営業所 | (0157) (26) 9011 | 川崎営業所 | (044) (811) 6167 | 沖縄営業所 | (096) (674) 1222 |
| 仙台支店 | (022) (284) 3201 | 平塚営業所 | (0463) (54) 3914 | 兵庫支店 | (0794) (82) 7411 |
| 仙台営業所 | (022) (284) 3201 | 相模原営業所 | (042) (757) 2501 | 三木営業所 | (0794) (82) 7411 |
| 古川営業所 | (0229) (24) 0698 | 湘南営業所 | (0466) (87) 4001 | 尼崎営業所 | (06) (6437) 3660 |
| 青森営業所 | (017) (764) 4466 | 静岡営業所 | (054) (281) 1555 | 神戸営業所 | (078) (672) 6121 |
| 八戸営業所 | (0178) (43) 3321 | 磐田営業所 | (054) (281) 1555 | 姫路営業所 | (0792) (61) 0204 |
| 盛岡営業所 | (019) (635) 6221 | 沼津営業所 | (055) (923) 7811 | 広島支店 | (082) (293) 2231 |
| 水沢営業所 | (0197) (22) 5101 | 浜松営業所 | (053) (464) 3016 | 広島営業所 | (082) (293) 2231 |
| 郡山営業所 | (024) (932) 0218 | 甲府営業所 | (055) (276) 7212 | 稚山営業所 | (084) (923) 0960 |
| いわき営業所 | (0246) (23) 6061 | 金沢支店 | (076) (249) 5701 | 三原営業所 | (0848) (64) 4850 |
| 新潟支店 | (025) (247) 5356 | 金沢営業所 | (076) (249) 5701 | 岡山営業所 | (086) (243) 4723 |
| 新潟営業所 | (025) (247) 5356 | 七尾営業所 | (0767) (52) 3533 | 宇部営業所 | (0836) (31) 4345 |
| 長岡営業所 | (0258) (30) 5530 | 富山営業所 | (076) (451) 6260 | 佛山営業所 | (0834) (21) 5583 |
| 山形営業所 | (023) (643) 5225 | 高岡営業所 | (0766) (21) 3177 | 鳥取営業所 | (0857) (28) 5761 |
| 酒田営業所 | (0234) (26) 3551 | 福井営業所 | (0776) (35) 1911 | 松江営業所 | (0852) (21) 0538 |
| 秋田営業所 | (018) (863) 5205 | 岐阜支店 | (058) (274) 1315 | 高松支店 | (087) (841) 2201 |
| 宇都宮支店 | (028) (634) 5295 | 岐阜営業所 | (058) (274) 1315 | 高松営業所 | (087) (841) 2201 |
| 宇都宮営業所 | (028) (634) 5295 | 多治見営業所 | (0572) (22) 4921 | 徳島営業所 | (088) (626) 0555 |
| 小山営業所 | (0285) (25) 5559 | 松本営業所 | (0263) (25) 4696 | 松山営業所 | (089) (951) 7666 |
| 水戸営業所 | (029) (248) 2033 | 長野営業所 | (026) (225) 1022 | 宇和島営業所 | (0895) (22) 3785 |
| 土浦営業所 | (029) (821) 6086 | 上田営業所 | (0268) (22) 6362 | 高知営業所 | (088) (884) 7811 |
| 関東物流センター | (048) (771) 3451 | 姫路営業所 | (0265) (24) 1636 | 福岡支店 | (092) (411) 9201 |
| 埼玉支店 | (048) (771) 3462 | 名古屋支店 | (052) (571) 6451 | 福岡営業所 | (092) (411) 9201 |
| さいたま営業所 | (048) (777) 4801 | 名古屋営業所 | (052) (571) 6451 | 北九州営業所 | (093) (551) 3481 |
| 川越営業所 | (049) (222) 2512 | 一宮営業所 | (0586) (75) 5382 | 飯塚営業所 | (0948) (26) 3361 |
| 熊谷営業所 | (048) (521) 4647 | 東名古屋営業所 | (0561) (73) 0072 | 久留米営業所 | (0942) (43) 2441 |
| 越谷営業所 | (0489) (76) 6155 | 知多営業所 | (0569) (48) 8470 | 佐賀営業所 | (0952) (30) 6603 |
| 前橋営業所 | (027) (232) 5575 | 岡崎営業所 | (0564) (22) 2443 | 長崎営業所 | (095) (882) 6112 |
| 高崎営業所 | (027) (365) 3688 | 豊橋営業所 | (0532) (46) 9117 | 佐世保営業所 | (0956) (33) 4991 |
| 町毛営業所 | (0276) (46) 7661 | 四日市営業所 | (0593) (51) 0727 | 熊本支店 | (096) (389) 4300 |
| 千葉支店 | (043) (231) 5521 | 津営業所 | (059) (232) 2446 | 熊本営業所 | (096) (389) 4300 |
| 千葉営業所 | (043) (231) 5521 | 伊勢営業所 | (0596) (36) 3210 | 八代営業所 | (0965) (43) 1000 |
| 市川営業所 | (047) (328) 1554 | 京都支店 | (075) (621) 1135 | 大分営業所 | (097) (567) 3320 |
| 成田営業所 | (0478) (73) 8101 | 京都営業所 | (075) (621) 1135 | 宮崎営業所 | (0985) (26) 1236 |
| 木更津営業所 | (0438) (23) 2908 | 福知山営業所 | (0773) (23) 7733 | 鹿児島営業所 | (099) (267) 5234 |
| 柏営業所 | (04) (7175) 0411 | 大津営業所 | (077) (545) 5594 | 大阪支店の欄をご覧ください。 | |
| 東京支店 | (03) (3816) 1141 | 彦根営業所 | (0749) (22) 6184 | | |
| 東京営業所 | (03) (3816) 1141 | 大阪支店 | (06) (6351) 8771 | | |
| 中野営業所 | (03) (3337) 8431 | 大阪営業所 | (06) (6351) 8771 | | |

株式会社マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 ☎ 446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)